

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ナウ

# Network Now

2018 No.510

6 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 平成30年度 第1回理事会開催される



平成30年4月28日（土）、本会事務所で平成30年度第1回理事会が開催された。

中澤会長のあいさつの後、定数が確認され議事に入った。初めに、平成29年度事業報告案について中澤会長より資料に基づき説明があり、賛成多数で承認された。次に、平成29年度決算報告案について小田財務担当理事より報告があり、承認された。続いて江田総務理事より、第79回定時総会開催と議題について、および委員会構成の変更について。富田編集担当理事より、会誌目次案・Network Now 台割案について説明があり、承認された。最後に、事務局より入退会者・除籍者・免除者の説明があり、こちらも賛成多数で承認された。

各担当より以下の報告事項について資料を基に説明された。本理事会報告事項を以下に列挙する。

- (1) 平成29年度期末監査報告
- (2) 執行理事報告（中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田理事）
- (3) 会員動向報告（除籍者数・男女別・県別含む）
- (4) X線検診車での乳房撮影時における医師立会いの要望書提出
- (5) 学術教育委員会報告
- (6) 新生涯教育システム委員会報告
- (7) 国際委員会報告
- (8) 編集委員会報告
- (9) 広報委員会報告
- (10) 会員情報システム委員会報告
- (11) 調査委員会報告
- (12) 医療安全対策委員会報告（感染症対策マニュアルなど）



- (13) 災害対策委員会報告
- (14) 業務拡大に伴う統一講習会進捗報告<sup>しんちよく</sup>について
- (15) 第34回日本診療放射線技師学術大会について
- (16) 分科会関係報告
- (17) 外部団体への役員任命について
- (18) 技師法改正案について
- (19) 本年度ワークショップテーマについて
- (20) 地域学術大会参加費について
- (21) 地域理事報告
- (22) 医療被ばく低減施設認定更新報告
- (23) 委員会報告について

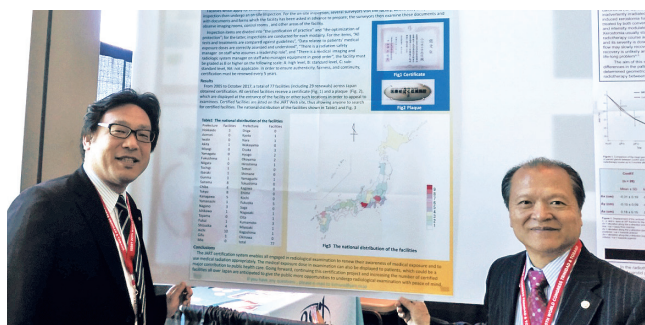
各報告事項についても活発な意見交換がなされ、理事会は閉幕した。詳細な議事・報告内容は、会誌に掲載される平成30年度第1回理事会議事録（抄）を参照されたい。

## ISRRT World Congress 2018 開催される

2018年4月12日(木)から15日(日)までの4日間、トリニダード・トバゴのHYATT Regencyで開催されたISRRT World Congress 2018(世界放射線技師会学術大会)に、中澤会長、児玉理事の2人が参加した。第20回となる本大会には、世界55カ国から442人の参加があった。日本からの参加者は5人であり、口述発表1件、ポスター発表3件の計4件の研究発表があった。ポスター発表では、日本診療放射線技師会の医療被ばく低減施設認定の取り組みについて報告を行った。学術大会に先立ち、4月9日(月)にアジア地域会議、10日(火)にISRRT評議員会があり、ISRRT担当理事からの業務報告、ISRRT World Congressの開催都市決定のプロセス変更、中華民国醫事放射師公會全國聯合會(TAMRT;台湾の診療放射線技師会)のISRRTへの加盟などについて議論され、了承された。またISRRT年会費の改定について議論があり、今回の評議員会では結論が出ず、次回のアイルランド大会までに改定案を取りまとめ、再度議論されることになった。ISRRT World Congress 2022の開催地については4カ国から立候補があったが、タイのバンコクに決定した。11日(水)には役員選挙があり、ISRRT会長はアメリカのDonna

Newman氏に決定した。アジア・オーストラリア地域の役員について、Regional Coordinator for Professional Practiceに児玉理事が選ばれた。

次回のISRRT World Congress 2020は、アイルランドのダブリンで開催される。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしている。



医療被ばく低減施設認定に関するポスター発表



ISRRT評議員会での採決の様子



海外研究発表者渡航助成採択者への助成証書交付

## ESRハム会長との会議が開催される!

平成30年4月13日(金)、パシフィコ横浜でESR(European Society of Radiology)のBernd Hamm会長と3度目の会議が開催された。本会からは佐野副会長、熊代副会長、江田理事、富田理事、保川専門職、木村秘書の6人が出席した。

Bernd Hamm会長とは、本年2月にウィーンで開催され

たECR(European Congress of Radiology)での会議の際、4月のJRC(Japan Radiology Congress)で再度「ECRへの診療放射線技師参加促進」についての会議が約束され、本会議が実現した。あいにく、中澤会長はトリニダード・トバゴで開催されるISRRTへ出席したため、この会議は欠席と



なった。

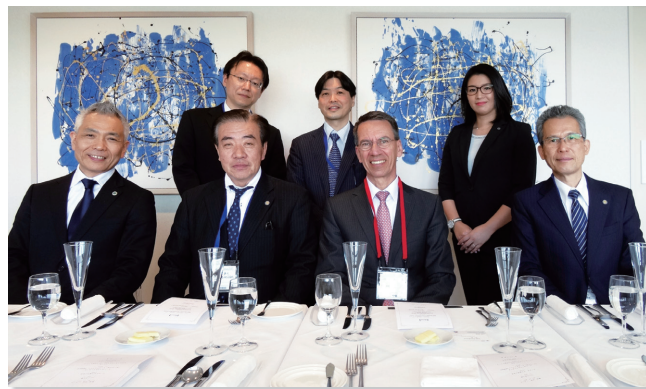
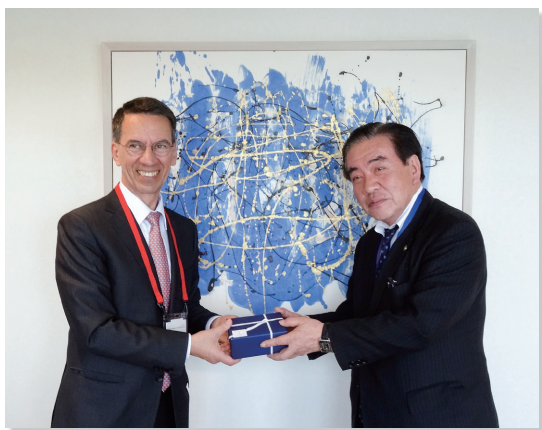
会議の冒頭では、Bernd Hamm会長からECR2018へ日本の診療放射線技師の参加者や演題登録数などについて詳細な報告がされた。報告後、本会議の目的であるECRへの参加促進について討議を行った。

ESR側の主な提案は、約2,500の演題の中から日本の診療放射線技師の目線で、興味のある100演題の選出とESR(European Society of Radiology)へのメンバーシップの登録などについて提案がされた。本会からは、100演題の選出は可能だが翻訳作業については検討する旨を伝えると、翻訳はECRで行うとの回答があった。またESRへのメンバーシップ

の登録は無料であり、特典としてECRへの事前参加登録であれば99ユーロで参加ができ、ホームページでレクチャーなどの視聴も可能であるとの説明がされた。ぜひ、本会会員にも登録を強く希望すると依頼された。

会議内容について、本会からはESR側の提案事項を持ち帰り、中澤会長へ報告後に前向きに検討・回答すると佐野副会長から返答した。

国際的学術大会への研究発表促進は、会員やわが国にとって大変有益である。ヨーロッパにおける大きな組織がJARTに依頼してきたことは大変名誉なことであり、JARTの国際認知度も上がると確信している。今後もESRとの協議を進め、多くの会員がECRへ参加することを期待する。



## 第34回 日本診療放射線技師学術大会の広報活動 in ITEM

平成30年4月13日(金)から15日(日)までの3日間、パシフィコ横浜でJRC2018国際医用画像総合展(ITEM)が開催された。今年は167社が出展しており、昨年よりも9社多い展示会であった。会場には学会参加者をはじめ、多くの方が来場され、最新機器の実機展示を間近にしながらか熱心に情報収集されていた。今年の大きな特徴としては「AI」「Deep learning」などを取り入れた技術がどのブースでも多く見受けられた。

今年も第34回日本診療放射線技師学術大会と第35回日本診療放射線技師学術大会への協力依頼のため、ITEM出展ブースを回り、協賛のお礼と広報活動を行った。

出展各社への訪問には、本会から佐野副会長、熊代副会長、江田理事、保川専門職、木村秘書が出席し、山口県から山内大会長、三輪副大会長、堀実行委員の3人、次回第35回開催県の埼玉県 田中大会長の代理として本会の富田理事(埼玉県副会長)、八木沢理事、城處理事が参加した。

山口県の精力的な活動により、現在、第34回日本診療放射

線技師学術大会での協賛を得られている企業は70社。参加者の皆さまに質の高い学術大会を提供するためにも、今後も精力的に活動し準備を進めていくと、山内大会長から感想が寄せられた。



## 平成29年度期末監査 実施される

平成30年4月20日(金)午後1時より、本会事務所で監査監事(室野井廣、新開英秀、小川利政)による平成29年度期末監査が実施された。

中澤会長より平成29年度事業の総括が行われ、江田総務理事による庶務報告と事業報告が行われた。続いて小田理事より平成29年度の決算報告が行われた。

これに対して、監査監事から口頭指導がされた。主な指摘事項は①支出の大きい事業の見直し ②委員会議事録未提出

管理の徹底 ③都道府県技師会との入会促進に向けた連携の強化 ④技師会事業内容の広報の活発化——以上の指導事項に対して、平成30年度の事業活動については、支出が収入を上回らないよう5%の経費削減を目指して事業を展開すると中澤会長より回答があった。

監査監事以外の出席者は中澤会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、野村事務局長および大森顧問税理士であり、3時間にわたり質疑応答が行われた。

## 第5回医療放射線の適正管理に関する検討会 開催される

平成30年4月27日(金)、厚生労働省省議室において第5回医療放射線の適正管理に関する検討会が開催された。

医療放射線の利用に当たり、各医療機関において適正な管理の下、十分な安全確保を行うことが必要であり、そのため医療放射線の管理については専門的な知見を踏まえた上で、医療機関の負担も考慮しつつ、適切な基準設定などを行うことが必要である。また放射線診療機器が急速に進歩し、新たな放射性医薬品を用いた核医学治療が国内導入される。そのため本検討会は、医療放射線の適正な管理を図るべく、医療放射線の管理に係る基準などについて検討することを目的として第1回が昨年4月19日に開催、今回で5回目を迎えた。本会からは小田正記理事が本検討会の構成員となっており、随行者の中澤靖夫会長、木村由美専門職と共に出席した。

第5回検討会では①医療被ばくの適正管理の在り方について②診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出について③未承認放射性薬物について④核医学診療機器の精度管理における放射性医薬品の目的外使用について——が議事として挙げられ、検討が行われた。新聞報道などでも取り上げられているが、①では、医療被ばくの正当化のための医師・歯科医師に対する研修、医療被ばくの最適化のため

の放射線診療従事者などに対する研修、医療被ばくの最適化のための医療放射線安全管理の推進と改善の方策として、DRLに基づく線量および放射性医薬品の投与量の管理と、被ばく線量が相対的に高いCTやIVRなどについては、被ばく線量の記録が義務付けられることとなった。②では、診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出、および挿入後の線源の取り扱いに関する指針が改正されることとなった。③では、研究機関などで調整した未承認の放射性薬物のうち、ヒトに対して適正に使用することができると考えられる薬物は、医療放射線の安全管理の観点を明記した上で、承認済み医薬品や治験薬と同様に医療機関内での使用を医療法で管理することとなった。これまではRI法で規制されていたこともあり、医療法の管理となることで臨床研究で扱いやすくなるを考える。④では、ファントム試験など精度管理で使用する放射性医薬品の目的外使用についても、医療法に基づく使用と見なすこととなった。

検討会の内容ならびに今後の検討会の動向については、厚生労働省のホームページをご参照いただきたい。(http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei.html?tid=436723)



## 医療被ばく低減施設認定の申請募集

INFORMATION

医療被ばくに関して、診療放射線技師が責任を持って情報の開示や十分な説明をすることは当然である。本認定事業は、医療用放射線利用による医療被ばくを低減している施設が、この認定に向けて準備を行うことで、改めて医療被ばく低減への取り組みを振り返っていただき、また国民に「医療被ばく低減(医療被ばくの適正化)」という情報を提供することで、結果として医療提供側・患者側の双方に大きなメリットとなる。

この認定事業は時期を問わず募集しているが、審査料や認定料が発生するため自施設で予算を取っていただく必要がある。審査費用は、書面審査料は無料、訪問審査料は審査項目に核医学を含まない施設が3万円、審査項目に核医学を含む施設が8万円、認定登録料が2万円である。この医療被ばく低減施設認定の審査は、本会からお送りする調書による書面審査とサーベイヤーが施設まで直接審査に訪れて実施する訪問審査があり、訪問審査は書面審査に合格した施設に対して実施する。この認定制度は、真正性と公平性および継続性を確認するため、認定期間を5年間とした更新制度となっている。

審査希望の施設は、本会ホームページ <http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html> をご参照の上、ぜひご申請いただきたい。



## 国際モダンホスピタルショー2018(第45回)のご案内

INFORMATION

病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器・製品・システム・サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与することを目的に開催される「国際モダンホスピタルショー」が、下記の通り開催されます。

- テーマ：健康・医療・福祉の未来をひらく～世代と国境を越えた豊かな共生を目指して～
- 主催：一般社団法人日本病院会、一般社団法人日本経営協会
- 会期：2018年7月11日(水)～13日(金)
- 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)東展示棟/会議棟  
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 展示内容：医療環境設備・機器、医療機器・材料、医療情報システム、看護支援関連、介護・リハビリ支援関連、健診・ヘルスケア関連、病院・介護・医療施設運営サポート・サービス、医療関連書籍・出版物、医療・福祉団体事業紹介ほか、主催者セミナーなどが開催されます

詳細は、ホームページ <https://noma-hs.jp/hs/2018/> をご確認ください。

興味のある方はぜひご参加ください。入場は原則として招待券持参もしくは事前登録者となっております。招待券・事前登録のない方は入場料が3,000円(税込み)となっております。



## 平成30年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

INFORMATION

旭日双光章	川戸 隆夫(兵庫県)			
瑞宝双光章	阿部 二郎(香川県)	新井 敏子(群馬県)	稲村 圭司(岡山県)	浦野 雅史(京都府)
	奥谷キクヨ(徳島県)	岸田 太門(福岡県)	木田 浩介(愛知県)	倉田 富雄(静岡県)
	佐藤 州彦(宮城県)	高橋 伸作(東京都)	千葉 一(神奈川県)	野川 義昭(神奈川県)
	橋田 昌弘(熊本県)	塙 知道(茨城県)	濱守 誠(埼玉県)	古川 隆志(広島県)
	眞柄 義一(福井県)	松平 峰雄(北海道)		
瑞宝単光章	原 武(徳島県)	東村 享治(東京都)		

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

## 英文誌 *Journal of JART* —English edition 2018— 発刊のお知らせ

INFORMATION

このたび、英文誌 *Journal of JART* —English edition 2018—を発刊致しました。  
本誌の内容は、本会の取り組みや学会での講演の様子をまとめた特集、さらには学術コンテ  
ンツとしまして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 *Journal of JART* は、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます  
ので、以下の本会 Web サイトより、ご自身でダウンロードくださいますよ  
うお願い致します。

本会ホームページの“活動について About activity”の“定期刊行物”  
の“*Journal of JART* —English edition 2018—”からダウンロードできます。  
ダウンロード URL は、<http://www.jart.jp/activity/jjart.html> です。



## 第7回 ピンクリボンアドバイザー認定試験のご案内

INFORMATION

「ピンクリボンアドバイザー」は、乳がん検診や治療について正しいことを知り、自分自身や周りの人の健康に貢献する人の養成を目標に、認定NPO法人乳房健康研究会が認定しています。健康のために知識を身に付けたい人、ピンクリボン運動に興味がある人、関わっている人、医療現場で患者さんに寄り添う技師を目指す皆さまの勉強に受験してみたいかがでしょうか。どなたでも受験できますので、周囲の方にもぜひご紹介ください。詳細、お申し込みは <https://breastcare.jp/pinkribbon-a-exam/> をご確認ください。



- 試験日程： 平成30年12月9日(日) 【初級】 10:30~11:30 【中級】 14:00~15:00
- 受験資格： 【初級】 どなたでも受験いただけます 【中級】 初級認定者のみ中級を受験いただけます
- 申込期間： 平成30年4月6日(金)~11月6日(火)
- 開催地： 【初級】 札幌、仙台、大宮、津田沼、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡  
【中級】 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 受験料(税込)： 【初級】 一般3,240円 学生2,160円  
【中級】 9,720円(事前講習DVD含む)
- 試験概要： 【初級】 乳がんの基本知識を身に付け、自分自身の健康管理に役立てたり、家族や友人・知人など身近な人に乳がん検診を勧めることができる  
【中級】 初級よりも深い知識を身に付け、職場や地域の人々に乳がん検診を勧め、乳がんの正しい知識を伝えることができる。乳がんに関するさまざまな問題を理解し、その解決のために行動することができる

## JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。



## 本会の動き

## 調査委員会より

調査委員会は、診療放射線技師の最新の実態を把握する目的で、業務・給与に関する調査を隔年ごとに実施し、集計・分析・結果報告をしています。

業務に関する調査は、平成23年3月に初回を実施して今年までに3回を終了しています。全国業務実態アンケート調査を基に、平成23年には厚生労働省と連携しながら、診療放射線技師に関する意見交換会を立ち上げ、関係審議会、推進協議会および部会などで取りまとめられました。特に、平成26年第186回通常国会において、診療放射線技師法の一部改正が行われたことは大きな成果でした。診療放射線技師の待遇改善や社会における貢献度をさまざまな機会を通じて、関係機関や社会にアピールしてきたことが大いに評価されています。

給与に関する調査は、平成22年まで民間医療機関に勤務する診療放射線技師を対象に給与の実態調査を行っていましたが、

平成23年度の調査より、民間・公的機関の差別をなくし、全会員によるアンケートとしました。都道府県を網羅したデータを解析し、行政にも注目され、数値の年次推移の追跡が可能となりました。診療放射線技師をめぐる需要と供給のバランスなど大いに役立つものであり、診療放射線技師の置かれた環境にスポットを当てることで、処遇改善における貴重なデータ供給源にもなっています。

多くの施設にご回答いただくことは、信頼性が向上し、データとしての価値が高まります。今後、できるだけストレスなくご回答いただけるよう、次回調査よりWebブラウザベースによるアンケート入力方法の導入を構築中です。専門性と責任を求められる医療現場において、診療放射線技師の実態のデータ化に努め、会員の皆さまには、今後も調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。（文責：小林一郎）

## “あうんの呼吸”とはいかないが…



春を迎え、日没後でも暖かくなったと感じていた先日、自宅近隣のスーパーマーケットで買い物を終え、自動扉から外に出たところで、歩道にクレジットカードが1枚落ちていることに気が付いた。もちろん、自分のものではない。

すでに夜のとばりが降りている時刻で、辺りには人影もなく、突然直面した状況に一瞬躊躇したものの、意を決しカードを拾い、自分の車を駐めてある駐車場とは反対方向に歩き出した。約200m先の交番に届けることにしたのである。

このご時代だけに、悪用されても持ち主が困るだろうし、電子マネーが付帯しており、そのまましておくのも物騒この上ない。持ち主が探しに来て、交番がこの近さにあれば、きっと届け出るだろう…と思いつつながら。

買い物の荷物はやや重く煩わしかったが、まあ急いでいるわけでもなかったので、善意の市民を演じてみた。

幸い交番には、巡査だろうか、若い警察官が駐在しており、出掛けようとしているようにも見受けられた。交番に入って、カードが落ちていたことを告げて、それを差し出したところ、彼の些か想定外の問い掛けに戸惑ってしまった。

小生：「〇〇の前にクレジットカードが落ちていました。悪用されてもと思い、届けに来ました」。ここで、勝手な想定として「ご苦労さま。お預かりします」と返ってくる…と思いきや、若い警察官の第一声は「それでは、権利関係の意思表示をお願いします」だった。

別に<sup>おごら</sup>勞いの言葉が欲しかったわけでもないし、彼にとっては、その後の処理に必須となる「対応マニュアル通りの受け答え」なのかもしれない。しかし、少し殺伐としたやり取りに気持ちが落ちてしまった。

翌日もこの体験が忘れられずにいたが、他山の石と考えてみると、われわれはどうだろうか。若手の仲間が患者さまを呼び入れるとき、機械的にいきなり「こちらにお入りください」「お名前と生年月日を教えてください」とやっていないだろうか。自由が利かないつらい身体で、場合によっては長時間待たされ、やっと自分の順番が来たとき、「お待たせしました」「大丈夫ですか」の一言がきちんと呼び掛けられないと、あの夜の自分と全く同じ気持ちを患者さまに味わわせてしまいそうで、少し心配になった。患者さまだって、きっとそう言ってほしいわけではないのかもしれない。しかし、そこは「お待たせしました」と、声を掛けるのが医療人として…というより、人として自然な対応だと思うし、われわれは若手の職員に必ず「そう」指導すべきではないかとも。

別の中堅スタッフが「最近の若手は患者さまと接する際、本当に相手を“人として”対応しているか疑問だ…」と嘆いていたのを思い出して、季節が少し戻ったように、背筋が寒くなった。これではいけない。まだまだ、われわれにはやらねばならない仕事がありそうだ。

小生にとっては、多くを考えさせられる春の夜の一幕であった。（文責：松田恵雄）



INFORMATION

# 第9回 第34回日本診療放射線技師学術大会 山口への道 下関ってこんなところ!

副実行委員長 伊藤 弘  
(山口県診療放射線技師会 監事)

## 地酒

日本診療放射線技師学術大会は、診療放射線学および診療放射線技術に関する学術研究発表や最新技術・知見の普及および生涯教育に関すること、国民に対して診療放射線学および診療放射線技術の普及啓発を主な目的として開催されています。しかし、少々疲れた頭をリフレッシュさせながら、気になっていること、困っていること、他の人の意見を聞いてみたいことなどについて、お互いの意見や考えを出し合う機会も重要です。情報交換会がその場を提供してくれるのではないのでしょうか。情報交換会の楽しみの一つに、全国の診療放射線技師会から提供された地酒の飲み比べがあります。山口県からは、毎年「獺祭」を提供させてもらっていますが、山口県の参加会員が飲めないほどの人気ぶりです。

今回は、山口の人気の地酒を紹介したいと思います。



### 獺祭 (だっさい)

2014年4月にオバマ大統領が来日した際、安倍晋三首相がプレゼントしたのがこのお酒。獺祭シリーズの中の最高級品「獺祭磨きその先へ」です。獺祭のラインアップには純米大吟醸50、磨き三割九分、磨き二割三分とありますが、この商品はさらに精米をしたものです。獺祭は杜氏なしで造られていることでも有名です。杜氏の職人としての勤に頼るのではなく、社長をはじめとして職員全員により、科学的な方法で原料から醸造の全過程をデータ管理することで、良質な純米大吟醸酒を製造しています。

なお本学術大会では、この「獺祭」の生みの親である旭酒造株式会社 桜井博志会長による特別講演が行われます。



### 雁木 (がんぎ)

少量仕込み、無濾過で仕上げる伝統の製法で、濃醇なうま味とキレがあり、派手さはないがバランスの良いお酒です。冷酒からぬる燗まで、さまざまな表情を楽しめます。料理を選ばず、毎日飲むのにちょうどいいお酒です。



### 東洋美人

2016年12月にプーチン露大統領が来日した際、会場となった長門市の高級老舗温泉旅館大谷山荘で振る舞われたのが、この「東洋美人 壱番纏」です。山口県萩市の澄川酒造場が造る、山田錦を40%まで精米した純米大吟醸。米のうま味と透明感のある酸が見事に調和したエレガントなお酒です。



### 貴 (たか)

酒蔵は宇部市に位置する永山本家酒造場。酒造りの水は、秋吉台・秋芳洞カルスト台地を源流とする地下水で、カルシウムなどのミネラルを含む中硬水。日本酒造りでは珍しく、土壌や風土を反映させた酒を目指しています。爽やかな香りとしっとりとしたうま味、柑橘系の酸を感じさせます。飲み飽きしない食中酒で、じんわりとしたやさしい切れ味が、繊細な和食や生野菜、鍋料理などと合います。

この他にも「五橋」「山猿」「金冠黒松」など、おいしいお酒があります。下関にお越しの際は、ぜひ堪能してみてください。





# 第34回 日本診療放射線技師学術大会

The 34th Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT)

## 第6回 アジア放射線治療シンポジウム

The 6th Asia Radiotherapy Symposium (ARTS)

### 国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

—時代の潮流を見極める—

The Direction of Tomorrow

会期  
Date

平成30年  
9月21日(金)~23日(日)

September 21st (Fri) -23rd (Sun) , 2018

会場  
Venue

海峡メッセ下関  
下関市生涯学習プラザ

KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI /  
Shimonoseki City Lifelong Learning Plaza

会長  
President

中澤 靖夫

(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長  
Chairman

山内 秀一

(一般社団法人 山口県診療放射線技師会 会長)

Shuichi Yamauchi (The Yamaguchi Association of Radiological Technologists)

URL:<http://www.convention-w.jp/jcrt34>

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 一般社団法人 山口県診療放射線技師会

Cosponsor: The Yamaguchi Association of Radiological Technologists

後援: 厚生労働省(予定)

Support: Ministry of Health, Labour and Welfare

山口県(予定)

Yamaguchi Prefecture

下関市(予定)

Shimonoseki City

運営事務局 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ

Congress Secretariat

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL:086-259-5578 FAX:086-250-7682 E-mail:jcrt34@wjcs.jp

Nippon Travel Agency Co.Ltd. Chu-shikoku Convention Group 2-1-7, Ekimae-cho, Kita-ku, Okayama, 700-0023, JAPAN Phone: +81-86-259-5578 Fax: +81-86-250-7682 E-mail: jcrt34@wjcs.jp

INFORMATION

# 診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場は変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

## ■フレッシューズセミナー開催予定:

千葉	6月3日(日)	井上記念病院 8階 講堂	山梨	6月9日(土)	山梨大学医学部附属病院放射線部 2階 カンファレンスルーム
岩手	6月10日(日)	盛岡赤十字病院 記念講堂	埼玉	6月10日(日)	済生会川口総合病院 東館地下1階 講堂
東京	6月10日(日)	三鷹産業プラザ 704+705	福島	6月11日(月)	会場(調整中)
北海道	6月16日(土)	会場(調整中)	青森	6月16日(土)	会場(調整中)
宮城	6月16日(土)	仙台市戦災復興記念館 4階 第1会議室	奈良	6月17日(日)	奈良県社会福祉総合センター 6階 中会議室
大阪	6月17日(日)	エーザイ株式会社 大阪コミュニケーションオフィス	静岡	6月23日(土)	静岡県放射線技師会事務所
兵庫	6月30日(土)	宮野医療器株式会社 大倉山別館ホール	香川	6月30日(土)	瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町
京都	7月1日(日)	会場(調整中)	和歌山	7月1日(日)	セイコーメティカル株式会社 3階 会議室
宮崎	7月7日(土)	会場(調整中)	大分	7月7日(土)	会場(調整中)
山口	7月8日(日)	会場(調整中)	福井	7月21日(土)	福井県立病院 5階 大会議室
長野	7月21日(土)~22日(日)	スカイランドきよみず	佐賀	7月21日(土)~22日(日)	会場(調整中)
滋賀	7月22日(日)	会場(調整中)	広島	8月25日(土)	会場(調整中)
神奈川	8月26日(日)	会場(調整中)			

INFORMATION

# 6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

## ■業務拡大に伴う統一講習会:

群馬	6月16日(土)~17日(日)	富山	6月16日(土)~17日(日)
福井①	6月16日(土)~17日(日)	広島	6月16日(土)~17日(日)
熊本	6月16日(土)~17日(日)	鹿児島	6月17日(日)・24日(日)
長野	6月23日(土)~24日(日)	島根	6月23日(土)~24日(日)
山形	6月30日(土)~7月1日(日)	石川	6月30日(土)~7月1日(日)
滋賀	6月30日(土)~7月1日(日)	岩手	7月1日(日)・8日(日)
福井②	7月7日(土)~8日(日)	兵庫	7月7日(土)~8日(日)
大阪	7月14日(土)~15日(日)	栃木	7月15日(日)~16日(月・祝)
茨城	7月15日(日)~16日(月・祝)	京都	7月15日(日)~16日(月・祝)
奈良	7月15日(日)~16日(月・祝)	和歌山	7月15日(日)~16日(月・祝)
宮城	7月21日(土)~22日(日)	静岡	7月21日(土)~22日(日)
千葉	7月22日(日)・29日(日)	福岡	7月22日(日)・29日(日)
新潟	7月28日(土)~29日(日)	鳥取	7月29日(日)・8月5日(日)
京都	6月24日(日)	東京	7月8日(日)

## ■基礎技術講習(一般撮影):

京都 6月24日(日)

## ■基礎技術講習(MRI検査):

茨城 7月8日(日)

## ■基礎技術講習(X線CT検査):

群馬 7月8日(日)

和歌山 7月29日(日)

## ■ナイトセミナー:

東京 6月25日(月)

## ■読影セミナー:

東京 7月1日(日)

## ■医療画像情報精度管理士セミナー:

秋田 7月14日(土)

東京 7月28日(土)

## ■骨関節撮影分科会セミナー:

東京 7月16日(月・祝)

## ■放射線被ばく相談員講習会:

東京 7月21日(土)~22日(日)

事務所  
案内

執務時間:月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。